

フレンドシップ賞

ベトナムの友達から学んだこと

秋田県 大湯小学校 四年
小田島 心深

私にはベトナム人の友達があります。名前は「グエン・ハー」さんといいます。みんなは、「ハーちゃん」と呼んでいます。

ハーちゃんは、私のおばあちゃんと同じ職場で働いています。勉強が好きで、日本語のテストで一級を取ったそうです。だから、日本語がとても上手です。

また、畑作りが得意で、おばあちゃんの畑作りのお手伝いをしています。私は、おばあちゃんの畑仕事のお手伝いをしているときに、ハーちゃんに会いました。私とハーちゃんは、いっしょにおばあちゃんの畑のお手伝いをしているうちに、なかよくなりました。

私のおばあちゃんは、畑でいろいろな野菜を育てています。ハーちゃんの国では、さつまいもやじゃがいもを多く育てているのだそうです。おばあちゃんは、小さい野菜は食べにくいので、捨ててしまいます。ハーちゃんはそれを、

「もったいない。」

と言って、どんなに小さくても大事に持ち帰り、おいしく食べているのだそうです。

この前ハーちゃんは、わたしにベトナムのおやつ作り方を教えてくれました。油であげて作るおせんべいは、作るとき少しこわかったのですが、

「あぶないから、はなれながらやってね。」

と、ハーちゃんがいっしょに作ってくれたので、楽しく作ることができました。そのときわたしは、ハーちゃんがおやつを作るときに、あまりごみを出さないように作っていることに気がつきました。ボウルにあったおせんべいのたねは、ぜんぶきれいにおせんべいになりました。

（のこさず作るとききれいだな）と、わたしは思いました。

そして、いっしょに作ったおせんべいはとてもおいしくて、いっぱい食べてしまいました。食べることも、作ることも、なかなかできないけいけんをしました。今度は、自分でも作ってみたいなと思いました。

今年の11月に、ハーちゃんは東京に行くことになりました。わたしもおばあちゃんも、とてもさみしくなります。

わたしはハーちゃんとお話しながら、ちがう国の人もなかよくなれることを知りました。そして、ハーちゃんといっしょに畑仕事を手伝う中で、どんな食べ物も大事にすることを教えてもらいました。おばあちゃんとハーちゃんと育てた野菜は、どんなに小さくてもおいしくて、小さい野菜も、おもしろい形の野菜も、

「どうやって食べようかな。」

と、おばあちゃんとお話しながら、工夫して食べるのが楽しくなりました。

ハーちゃんといっしょにいられる日は、だんだんのこり少なくなってきました。いっしょにいられる時間を大切にしたいと思います。そして、ハーちゃんに「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思います。